
エントリー・シートの書き方

エントリーシートとは、学校や企業が採用のために、受験者に作成させる自己アピールの書類です。第1次選考や、面接試験での質問に利用されます。

1. 高校卒業後の進学用のエントリーシート（自己推薦書）を書くのか、高校か大学卒業後の就職用のエントリーシートを書くのかを決めます。

2. 高校卒業後の場合は、「学歴」は高校卒業見込まで、「委員」「クラブ」「得意科目」「保有資格」を書きます。

大学卒業後の場合は、「学歴」は架空の大学または大学院卒業見込まで、架空の「ゼミ」「クラブ・サークル」「卒業論文」、「保有資格」は今後取得したいものを含めて書きます。

4. 進学用の場合は、「希望学校名」「希望学部・学科」を書きます。

就職用の場合は、「希望業界（何を扱う会社なのか。例えば、食品・医療・ITなど）」「希望部署（どんな仕事をするのか。例えば、製造・営業・人事・企画など）」を書きます。

5. 「1. 学生時代の体験」「2. 自分の強み」「3. 志望理由」について

(1)文字は、上手下手ではなく、丁寧に書きます。（性格や事務処理能力を表します）

(2)表記は、できるだけ漢字を使い、誤字脱字に注意します。（学力を表します）

(3)文体は、デス・マス体、文章語を使って書きます。（社会常識を表します）

(4)内容は、希望先の学校や会社が求める能力を考えて書きます。（判断力を表します）

(5)各項目に共通したポイント（例えば、積極性・計画性・堅実性・協調性・社会常識・職業観・理解力など）を中心にアピールします。（自己表現力を表します）

(6)できれば、人と一味違う内容にします。印象的なキャッチフレーズ、適切なエピソードなどを具体的に書くことが大切です。（創造力を表します）

(7)一般に、「3. 志望理由」→「2. 自分の強み」→「1. 学生時代の経験」の順番で書くと書きやすくなります。

(8)書いたことについて、面接で面接官が質問してくることがあります。強調して書くことはかまいませんが、事実と反することは書かないようにします。

6. 時間があれば「4. 意見文」を書きます。

(1)ここでも「1～3」でアピールしたポイントに関連したことを書きます。

(2)5(1)～(3)に注意して書きます。